

平成21年度病害虫発生予報第4号(7月予報)

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

タバココナジラミ バイオタイプQ (ピーマン)

学名 : *Bemisia tabaci* Q-biotype



タバココナジラミ成虫

生態と被害



幼虫



葉裏に寄生する成虫

タバココナジラミは世界中に分布し、40以上のバイオタイプが知られている。バイオタイプとは、形態的な差異はほとんど無いが、寄主植物の選択性など生物学的性質が異なる系統のことである。国内には主に、重要害虫である侵入系統のバイオタイプBおよびQの他に、在来系統であるJpL(本土に生息)とNauru(奄美や沖縄に生息)が知られている。

タバココナジラミ成虫の体長は約1mmで、翅は白色、体は淡黄色である。幼虫は淡黄色～黄色である。タバココナジラミは多くの植物に寄生することが知られているが、バイオタイプQは30科64種類の植物を寄主とすることが報告されている。また、バイオタイプQは、ネオニコチノイド系薬剤の一部やピリプロキシフェン剤、エトフェンプロックス剤などの薬剤に感受性が低いことに加え、薬剤抵抗性を発達させやすいことが報告されている。

沖縄では2009年、本島南部地域のピーマンでバイオタイプQの発生が確認された。